

公式試合記録 (15人用)



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名 平成25年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会

種別	試合番号	年	月	日	時間	場所	ピッチ	
男子	27	H	25	8	7	11:20	メルヘンの森スポーツ公園	人工芝(W)

チーム名

岩手県立沼宮内高等学校

試合	2	-	3
(前半)	1	-	2
(後半)	1	-	1
延長	-	-	-
S O	-	-	-

チーム名

福井県立丹生高等学校

先発	No.	氏名	G	Y	R
✓	1	玉山 剛			
✓	2	泡湊 翔太			
	3	民部田 駿			
✓	4	千葉 健寛			
✓	5	岩崎 圭介			
✓	6	笈口 将樹			
✓	7	上澤 祐斗			
✓	8	竹田 真			
✓	⑨	小沢 諒			
✓	10	山口 滉太			
26	11	齊藤 裕希			
20	12	高橋 優			
✓	13	工藤 拓也			
	14	上山 凌芽			
✓	15	大下 諒			

先発	No.	氏名	G	Y	R
	1	松田 啓太			
31	2	佐々木 優志			
✓	3	栗原 雅弘			
✓	4	戸田 真人			
✓	5	前田 隆昭			
✓	6	馬谷 圭介			
✓	⑦	青山 力也			
✓	8	富田 竜平			
✓	9	時田 浩成			
✓	10	渡辺 晃大			
✓	11	松山 隼也			
✓	12	中上 裕規			
	13	舘 亮佑			
24	14	和田 吉広			
✓	15	近藤 辰徳			

特記事項

監督 田村 保

アンパイア 杉浦 利哉

サブエスジョンUP 中元 大輔

ジャッジ 小川 克己

ジャッジ 金藤 理恵

監督 三上 克典

アンパイア 竹内 高広

サブエスジョンUP 元宗 宏寿

リザーブアンパイア 松原 久

T. O. 長田 和雄

チーム	時間	No.	種	スコア
丹生	15	8	FG	0-1
沼宮内	19	9	PC	1-1
丹生	27	14	FG	1-2
丹生	55	10	FG	1-3
沼宮内	68	7	PC	2-3

チーム	時間	No.	種	スコア
				-
				-
				-
				-
				-

チーム	時間	No.	種	スコア
				-
				-
				-
				-
				-

戦 評 用 紙



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名 平成25年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会

種別	試合番号	年	月	日	時間	場所	ピッチ	
男子	27	H	25	8	7	11:20	メルヘンの森スポーツ公園	人工芝(W)

チーム名

岩手県立沼宮内高等学校

試合	2	—	3
(前半)	1	—	2
(後半)	1	—	1
延長	—	—	—
S O	—	—	—

チーム名

福井県立丹生高等学校

先発	背番号	氏名	G	Y	R
✓	1	玉山 剛			
✓	2	泡湊 翔太			
	3	民部田 駿			
✓	4	千葉 健寛			
✓	5	岩崎 圭介			
✓	6	笈口 将樹			
✓	7	上澤 祐斗			
✓	8	竹田 真			
✓	9	小沢 諒			
✓	10	山口 滉太			
26	11	齊藤 裕希			
20	12	高橋 優			
✓	13	工藤 拓也			
	14	上山 凌芽			
✓	15	大下 諒			

先発	背番号	氏名	G	Y	R
	1	松田 啓太			
31	2	佐々木 優志			
✓	3	栗原 雅弘			
✓	4	戸田 真人			
✓	5	前田 隆昭			
✓	6	馬谷 圭介			
✓	7	青山 力也			
✓	8	富田 竜平			
✓	9	時田 浩成			
✓	10	渡辺 晃大			
✓	11	松山 隼也			
✓	12	中上 裕規			
	13	舘 亮佑			
24	14	和田 吉広			
✓	15	近藤 辰徳			

TO	長田 和雄	ジャッジ	小川 克己	アンパイア	杉浦 利哉	竹内 高広
----	-------	------	-------	-------	-------	-------

【戦 評】

全国ホッケー選手権大会男子決勝戦は、丹生高校対沼宮内の対戦。今大会失点1と固い守備を誇る丹生高校DFに、#9小沢を中心に突破力が自慢の沼宮内FWがどんな攻撃を見せるかが見物である。また両チームの死闘を尽くした準決勝戦は会場を感動の渦に巻き込んだ。決勝戦では、どんなドラマを見せてくれるのだろうか。

沼宮内高校のセンターパスにより前半戦が開始。両者一歩も譲らない好ゲームが展開される中、15分丹生高校は、DFのクリアボールをカットした#15近藤がゴール前にパス。#8富田が落ち着いて決め、先制点。しかし、沼宮内もすぐに反撃。19分にPCを取得。#10山口のフリックシュートに#9小沢がタッチで合わせ、同点に追いついた。その後も、両チームチャンスを量産し、見せ場を作る。そんな中、次にチャンスをものにしたのは丹生高校。27分、右サイドからの突破からゴール前に流れたボールを#14和田が落ち着いて決め、逆転した。反撃を試みる沼宮内高校だが、焦りからかややミスが目立ち始め、追いつくことのできないまま、2-1丹生高校リードで前半を折り返す。

後半に入り、持ち前の突破力で、相手陣内に攻め込む沼宮内高校だが、丹生高校DFの固い守りを崩すことができない。速いパス回しからの攻撃で沼宮内陣内でボール支配率を高める丹生高校は、20分、左サイドからのボールをゴール前で受けた#10渡辺がGKを翻弄する巧みなドリブルからリバースシュート。DFが体を張って死守するも、弾いたボールはゴールネットを揺らし、丹生高校が3-1と沼宮内高校を引き離した。勝負ありかと思われた33分、沼宮内高校はPCを取得。#10のシュートをGKが弾くも#7上澤がリバウンドを押し込み、1点差に詰め寄る。最後まで望みをつなげたい沼宮内高校だが、丹生高校の固い守りの前に力尽きる。3-2で丹生高校が勝利し、46年ぶりに福井に優勝旗を持ち帰ることとなった。最後まで死闘を尽くした両校に称賛を送りたい。